

**温対法における特定排出者の
他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素排出量の
算定等に用いられる排出係数について
(平成〇〇年度実績)**

平成 年 月 日

$$\text{使用端実排出係数 (kg-CO}_2\text{/kWh)} = \frac{\text{実二酸化炭素排出量}}{\text{販売電力量}}$$

$$\text{使用端調整後排出係数 (kg-CO}_2\text{/kWh)} = \frac{\text{実二酸化炭素排出量} + \text{固定価格買取調整二酸化炭素排出量} - \text{国内認証排出削減量調整無効化量} - \text{海外認証排出削減量調整無効化量} - \text{京都メカニズムクレジット償却前移転量}}{\text{販売電力量}}$$

$$\text{把握率 (\%)} = \frac{(\text{販売電力量}) - (\text{実二酸化炭素排出量算出のため代替値}^*\text{を使用した電気の受電電力量})}{\text{販売電力量}}$$

※ 排出量が把握できない事業者に対してのみ用いる係数

販売電力量 (10 ³ kWh)	二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	使用端二酸化炭素排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	二酸化炭素排出量算出のため代替値 [※] を使用した電気の受電電力量 (10 ³ kWh)	把握率 (%)
	(実二酸化炭素排出量)	(実排出係数)		
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)		

[前年度報告との比較・分析]

販売電力量 (10 ³ kWh)	二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	使用端二酸化炭素排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	差異分析
	(実二酸化炭素排出量)	(実排出係数)	
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)	

[把握できなかった理由]

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績)

会社名

◎電源が特定できる場合

○燃料使用量及び単位発熱量(測定値)が判明する場合

$$\text{燃料使用量} \times \text{単位発熱量(測定値)} \times \text{燃料種別排出係数}^{\ast 1} \times 44 / 12 = \text{CO}_2 \text{排出量}$$

○燃料使用量が判明する場合

$$\text{燃料使用量} \times \text{燃料種別発熱量}^{\ast 2} \times \text{燃料種別排出係数}^{\ast 1} \times 44 / 12 = \text{CO}_2 \text{排出量}$$

※1 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数

※2 算定省令別表第1の第4欄に掲げる単位発熱量

<自社分>/<他社分>

燃料種	燃料使用量	発熱量		総発熱量 (MJ)	燃料種別 排出係数 (t-C/GJ)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
		単位発熱量(測定値)	燃料種別発熱量			
原料炭	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0245	0
一般炭	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0247	0
無煙炭	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0255	0
コークス	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0294	0
石油コークス	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0254	0
コールタール	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0209	0
石油アスファルト	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0208	0
コンデンサート(NGL)	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0184	0
原油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0187	0
ガソリン	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0183	0
ナフサ	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0182	0
ジェット燃料油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0183	0
灯油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0185	0
軽油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0187	0
A重油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0189	0
B・C重油	千kl	MJ/千kl	MJ/千kl	0	0.0195	0
液化石油ガス(LPG)	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0161	0
石油系炭化水素ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0142	0
液化天然ガス(LNG)	t	MJ/t	MJ/t	0	0.0135	0
天然ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0139	0
コークス炉ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0110	0
高炉ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0263	0
転炉ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0384	0
都市ガス	千Nm ³	MJ/千m ³	MJ/千m ³	0	0.0136	0
小計	—	—	—	0	—	0

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績)

会社名

◎電源が特定できる場合

○燃料種ごとの総発熱量が判明する場合

$$\text{燃料種ごとの総発熱量} \times \text{燃料種別排出係数}^{\ast} \times 44 / 12 = \text{CO}_2\text{排出量}$$

※ 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数

<他社分>

燃料種	総発熱量 (MJ)	燃料種別 排出係数 (t-C/GJ)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
原料炭		0.0245	0
一般炭		0.0247	0
無煙炭		0.0255	0
コークス		0.0294	0
石油コークス		0.0254	0
コールタール		0.0209	0
石油アスファルト		0.0208	0
コンデンセート(NGL)		0.0184	0
原油		0.0187	0
ガソリン		0.0183	0
ナフサ		0.0182	0
ジェット燃料油		0.0183	0
灯油		0.0185	0
軽油		0.0187	0
A重油		0.0189	0
B・C重油		0.0195	0
液化石油ガス(LPG)		0.0161	0
石油系炭化水素ガス		0.0142	0
液化天然ガス(LNG)		0.0135	0
天然ガス		0.0139	0
コークス炉ガス		0.0110	0
高炉ガス		0.0263	0
転炉ガス		0.0384	0
都市ガス		0.0136	0
小計	0	—	0

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績)

会社名

◎電源が特定できる場合

○燃料種ごとの受電電力量が判明する場合

$$\text{受電電力量} \div \text{平均熱効率}^{*1} \times \text{燃料種別排出係数}^{*2} \times 44 / 12 = \text{CO}_2 \text{排出量}$$

※1 総合エネルギー統計から算出した平均熱効率
※2 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数

＜他社分＞

燃料種	受電電力量 (10 ³ kWh)	平均熱効率 (%)	総発熱量 (MJ)	燃料種別 排出係数 (t-C/GJ)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
原料炭			0	0.0245	0
一般炭			0	0.0247	0
無煙炭			0	0.0255	0
コークス			0	0.0294	0
石油コークス			0	0.0254	0
コールタール			0	0.0209	0
石油アスファルト			0	0.0208	0
コンデンセート(NGL)			0	0.0184	0
原油			0	0.0187	0
ガソリン			0	0.0183	0
ナフサ			0	0.0182	0
ジェット燃料油			0	0.0183	0
灯油			0	0.0185	0
軽油			0	0.0187	0
A重油			0	0.0189	0
B・C重油			0	0.0195	0
液化石油ガス(LPG)			0	0.0161	0
石油系炭化水素ガス			0	0.0142	0
液化天然ガス(LNG)			0	0.0135	0
天然ガス			0	0.0139	0
コークス炉ガス			0	0.0110	0
高炉ガス			0	0.0263	0
転炉ガス			0	0.0384	0
都市ガス			0	0.0136	0
小計	0	—	0	—	0

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料区分及び総発熱量が判明する場合

$$\text{燃料区分ごとの総発熱量} \times \text{燃料区分別CO}_2\text{排出係数}^{\ast} = \text{CO}_2\text{排出量}$$

※ 関連する燃料による平均的なCO₂排出係数

＜他社分＞

燃料区分	燃料区分毎の 総発熱量 (MJ)	燃料区分別 CO ₂ 排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
石炭		0.0907	0
石油		0.0700	0
LNG		0.0505	0
小計	0	—	0

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料区分及び受電電力量が判明する場合

$$\text{受電電力量} \div \text{平均熱効率}^{\ast 1} \times \text{燃料区分別CO}_2\text{排出係数}^{\ast 2} = \text{CO}_2\text{排出量}$$

※1 総合エネルギー統計から算出した燃料区分別平均熱効率

※2 関連する燃料による平均的なCO₂排出係数

＜他社分＞

燃料区分	受電電力量 (10 ³ kWh)	平均熱効率 (%)	総発熱量 (MJ)	燃料区分別 CO ₂ 排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
石炭			0	0.0907	0
石油			0	0.0700	0
LNG			0	0.0505	0
小計	0	—	0	—	0

「卸電力取引所を介した電気の販売を行い約定した電気」の係数
(平成〇〇年度実績)

会社名

○取引所販売にかかる電気の発電事業所の電力量、CO₂排出量
(当該発電事業所が明確な場合)

$$\text{受電電力量} \times \text{事業所等の実二酸化炭素排出係数}^{\ast} = \text{CO}_2\text{排出量}$$

※ 発電者の事業所別排出係数も含む

取引所販売にかかる電気の発電事業所の名称	取引所販売電力量 (10 ³ kWh)	発電事業所の実二酸化炭素排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)
小計	0	-	0.000

○「取引所販売にかかる電気」の係数(加重平均値)

$$\sum \left\{ \text{取引所販売にかかる事業所の実排出係数} \times \left[\frac{\text{取引所販売にかかる事業所の年間約定電力量}}{\sum \text{取引所販売にかかる事業所の年間約定電力量}} \right] \right\}$$

取引所販売にかかる電気にかかる排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	0.000
---	-------

自ら排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	特定番号	排出量調整 無効化日
1				
2				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
合計		0		

- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該電気事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他者が排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	代理償却者 ^{注)}	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	特定番号	排出量調整 無効化日
1					
2					
.					
.					
.					
.					
.					
合計			0		

注)代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること

- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該電気事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自ら排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	識別番号	排出量調整 無効化日
1				
2				
.				
.				
.				
.				
.				
.				
合計		0		

- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該電気事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他者が排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	代理償却者 ^{注)}	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	識別番号	排出量調整 無効化日
1					
2					
.					
.					
.					
.					
.					
合計			0		

注)代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること

- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該電気事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自ら償却前移転した京都メカニズムクレジットの内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	クレジット量 (t-CO2)	識別番号	償却前 移転日
1			
2			
・			
・			
・			
・			
・			
・			
合計	0		

- ※ 京都議定書第一約束期間の調整期間終了に伴い、平成27年11月18日までに償却前移転されたもののみ算出に用いることができるものとする。
- ※ 本表に記載した全ての京都メカニズムクレジットについて、当該電気事業者が国の管理口座への移転を行ったことを確認するため、国別登録簿システムから入手できる「算定割当量振替通知」を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての京都メカニズムクレジットについては、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他者が償却前移転した京都メカニズムクレジットの内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

	代理償却者 ^{注1)}	クレジット量 (t-CO2)	識別番号	償却前 移転日
1				
2				
・				
・				
・				
・				
・				
・				
合計		0		

注1) 代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること

- ※ 京都議定書第一約束期間の調整期間終了に伴い、平成27年11月18日までに償却前移転されたもののみ算出に用いることができるものとする。
- ※ 本表に記載した全ての京都メカニズムクレジットについて、当該電気事業者が国の管理口座への移転を行ったことを確認するため、国別登録簿システムから入手できる「算定割当量振替通知」を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての京都メカニズムクレジットについては、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

固定価格買取調整二酸化炭素排出量の算出の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

①調整電力量の算出
以下の式で求める。

$$\text{固定価格買取調整電力量} = \frac{\text{固定価格買取制度による当該電気事業者買取電力量} - \text{固定価格買取制度による買取電力量(全国総量)}}{\text{当該電気事業者販売電力量} / \text{販売電力量(全国総量)}}$$

固定価格買取制度による自社の買取電力量 (10 ³ kWh)	固定価格買取制度による買取電力量(全国総量) (10 ³ kWh)	自社の販売電力量 (10 ³ kWh)	販売電力量(全国総量) (10 ³ kWh)	固定価格買取調整電力量 (10 ³ kWh)
0.000	43,235,247	暫定値としてFY27実績を記入(FY28実績に更新予定)	837,518,596	暫定値としてFY27実績を記入(FY28実績に更新予定)

②固定価格買取調整二酸化炭素排出量の算出
以下の式にて求める。

$$\text{固定価格買取調整二酸化炭素排出量} = \text{固定価格買取調整電力量} \times \text{全国平均係数}$$

固定価格買取調整電力量 (10 ³ kWh)	全国平均係数 (t-CO ₂ /kWh)	固定価格買取調整二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)
0	0.000552	暫定値としてFY27実績を記入(FY28実績に更新予定)

「固定価格買取制度による自社の買取電力量」にかかる卸売買の内訳
(平成〇〇年度実績)

会社名

①FIT買取電力量(交付金対象) + ②卸調達量 - ③卸販売量 = 自社・FIT買取電力量 (→表13に記載)

① 固定価格買取制度による自社の買取電力量(交付金の対象となるもの)

	買取電力量 (10 ³ kWh)
小計	

② 電気事業者^{注)}からの卸調達量の内訳(相対契約によるもの)

注)当該年度において卸供給実績があるものの小売供給実績がない電気事業者も含む

事業者の名称	受電電力量 (10 ³ kWh)
小計	0

③ 上記①および②のうち電気事業者^{注)}(相対契約によるもの)及び卸電力取引市場における卸販売量の内訳

注)当該年度において卸供給実績があるものの小売供給実績がない電気事業者も含む

事業者の名称	送電電力量 (10 ³ kWh)
小計	0

<計算結果>

表13に記載すべき「固定価格買取制度による自社の買取電力量」(①+②-③)

	買取電力量 (10 ³ kWh)
小計	0

(参考)

		省令値	
		第4欄	第5欄
		単位発熱量(GJ/t)	排出係数(t-C/GJ)
原料炭	t	29.0	0.0245
一般炭	t	25.7	0.0247
無煙炭	t	26.9	0.0255
コークス	t	29.4	0.0294
石油コークス	t	29.9	0.0254
コールタール	t	37.3	0.0209
石油アスファルト	t	40.9	0.0208
コンデンセート(NGL)	kl	35.3	0.0184
原油	kl	38.2	0.0187
ガソリン	kl	34.6	0.0183
ナフサ	kl	33.6	0.0182
ジェット燃料油	kl	36.7	0.0183
灯油	kl	36.7	0.0185
軽油	kl	37.7	0.0187
A重油	kl	39.1	0.0189
B・C重油	kl	41.9	0.0195
液化石油ガス(LPG)	t	50.8	0.0161
石油系炭化水素ガス	千Nm ³	44.9	0.0142
液化天然ガス(LNG)	t	54.6	0.0135
天然ガス	千Nm ³	43.5	0.0139
コークス炉ガス	千Nm ³	21.1	0.0110
高炉ガス	千Nm ³	3.41	0.0263
転炉ガス	千Nm ³	8.41	0.0384
都市ガス	千Nm ³	44.8	0.0136

(出所)特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量算定に関する省令別表第1

平均熱効率(%)	39.5
----------	------

燃料区分別CO ₂ 排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	石炭	石油	LNG
	0.0907	0.0700	0.0505

H27実績排出係数

会社名	(t-CO ₂ /kWh)
	調整前
北海道電力(株)	0.000669
東北電力(株)	0.000556
東京電力エナジーパートナー(株)(旧:東京電力(株))	0.000500
中部電力(株)	0.000486
北陸電力(株)	0.000627
関西電力(株)	0.000509
中国電力(株)	0.000697
四国電力(株)	0.000651
九州電力(株)	0.000509
沖縄電力(株)	0.000802
アーバンエナジー(株)	0.000255
愛知電力(株)	0.000512
アストモスエネルギー(株)	0.000328
アンフィニ(株)	0.000296
イーレックス(株)	0.000555
池見石油(株)	0.000683
いこま電力(株)	0.000569
(一財)泉佐野電力	0.000536
出光グリーンパワー(株)	0.000228
伊藤忠エネクス(株)	0.000489
伊藤忠商事(株)	0.000560
HTBエナジー(株)	0.000615
エコエンジニアリング(株)	0.000520
SBパワー(株)	0.000072
NFパワーサービス(株)	0.000522
エネサーブ(株)	0.000364
エネックス(株)	0.000522
荏原環境プラント(株)	0.000163
MBエナジー(株)	0.000953
王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)	0.000568
王子製紙(株)	0.000446
大阪ガス(株)	0.000413
オリックス(株)	0.000550
(株)アイ・グリッド・ソリューションズ	0.000519
(株)アシストワンエナジー	0.000643
(株)アップルツリー	0.000097
(株)アドバンテック	0.000641
(株)イーエムアイ	0.000508
(株)イーセル	0.000475
(株)いちたかガスワン	0.000365
(株)岩手ウッドパワー	0.000074
(株)ウエスト電力	0.000296
(株)SEウイングズ	0.000502
(株)S-CORE	0.000048
(株)エックスパワー(旧:JLエナジー(株))	0.000524
(株)エナジードリーム	0.000545
(株)エナリスパワーマーケティング(旧:(一社)電力託送代行機構)	0.000311
(株)エネット	0.000418
(株)F-Power	0.000480
(株)関電エネルギーソリューション	0.000463
(株)グローバルエンジニアリング	0.000536
(株)洗陽電機	0.000517
(株)コンシェルジュ	0.000240

(株)サイサン	0.000434
(株)サニックス	0.000379
(株)G-Power	0.000000
(株)JNCパワー	0.000000
(株)新出光	0.000488
(株)生活クラブエナジー	0.000335
(株)タクマエナジー	0.000443
(株)地球クラブ	0.000478
(株)津軽あっぷるパワー	0.000018
(株)東急パワーサプライ(旧:東京急行電鉄(株))	0.000558
(株)東芝	0.000097
(株)トヨタタービンアンドシステム	0.000458
(株)とんでん	0.000388
(株)中之条パワー(旧:(一財)中之条電力)	0.000340
(株)ナンワエナジー	0.000536
(株)日本セレモニー	0.000491
(株)ネオインターナショナル	0.000549
(株)バランスハーツ	0.000554
(株)パルシステム電力(旧:(株)うなかみの大地)	0.000089
(株)V-Power	0.000262
(株)フォレストパワー	0.000071
(株)フソウ・エナジー	0.000579
(株)ベイサイドエナジー	0.000508
(株)みらい電力(旧:(株)エヌパワー)	0.000379
(株)リミックスポイント	0.000535
(株)リレボ	0.000569
(株)Loop	0.000400
川重商事(株)	0.000431
近畿電力(株)	0.000542
京葉瓦斯(株)	0.000435
合同会社北上新電力	0.000402
御所野縄文電力(株)	0.000048
西部瓦斯(株)	0.000481
サミットエナジー(株)	0.000397
JXエネルギー(株)(旧:JX日鉱日石エネルギー(株))	0.000513
志賀高原リゾート開発(株)	0.000166
滋賀電力(株)	0.000502
シナネン(株)	0.000400
芝浦電力(株)	0.000776
湘南電力(株)	0.000357
昭和シェル石油(株)	0.000308
新電力おおいた(株)	0.000449
新日鉄住金エンジニアリング(株)	0.000683
須賀川瓦斯(株)	0.000421
鈴与商事(株)	0.000384
生活協同組合コープこうべ	0.000339
泉北天然ガス発電(株)	0.000309
総合エネルギー(株)	0.000688
大一ガス(株)	0.000570
大東エナジー(株)	0.000516
ダイヤモンドパワー(株)	0.000320
太陽ガス(株)	0.000407
大和エネルギー(株)	0.000664
大和ハウス工業(株)	0.000521
中央電力エナジー(株)	0.000524
テス・エンジニアリング(株)	0.000322
テプコカスタマーサービス(株)	0.000419

東京エコサービス(株)	0.000102
東燃ゼネラル石油(株)	0.000508
凸版印刷(株)	0.000538
長崎地域電力(株)	0.000341
にちほクラウド電力(株)	0.000455
日産トレーディング(株)	0.000366
日本テクノ(株)	0.000358
ネクストエナジー・アンド・リソース(株)	0.000534
パシフィックパワー(株)	0.000440
パナソニック(株)	0.000495
はりま電力(株)	0.000553
日立造船(株)	0.000000
プレミアムグリーンパワー(株)	0.000026
北海道瓦斯(株)	0.000365
本田技研工業(株)	0.000490
丸紅新電力(株)(旧:丸紅(株))	0.000411
ミサワホーム(株)	0.000556
三井物産(株)	0.000015
ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.000495
水戸電力(株)	0.000297
宮崎パワーライン(株)	0.000082
みやまスマートエネルギー(株)	0.000525
みんな電力(株)	0.000464
森の電力(株)	0.000000
リエスパワー(株)	0.000485
リコージャパン(株)	0.000600
緑新電力(株)	0.000476
和歌山電力(株)	0.000503
ワタミファーム&エナジー(株)	0.000548

**温対法における特定排出者の
他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素排出量の
算定等に用いられる排出係数について
(平成〇〇年度実績、メニュー別)**

平成 年 月 日

会社名

【事業者別】(再掲)

販売電力量 (10 ³ kWh)	二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	使用端二酸化炭素排出 係数 (kg-CO ₂ /kWh)	二酸化炭素排出量算出の ため代替値 [*] を使用した 電気の受電電力量 (10 ³ kWh)	把握率(%)
	(実二酸化炭素排出量)	(実排出係数)		
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)		

【メニュー別】

販売電力量 (10 ³ kWh)	固定価格買取調整後 二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	国内及び海外認証 排出削減量等の量 (10 ³ t-CO ₂)	調整後二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	調整後排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)
A		0.000		
B		0.000		
C		0.000		
(参考) 合計	0.000	0.000	0.000	

※メニュー別排出係数について記入欄が不足する場合は別途、国に申し出ること。(「残差により作成した係数」は最終行に設定するものとする。)

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

◎電源が特定できる場合

○燃料使用量及び単位発熱量(測定値)が判明する場合

≪参考・「事業者別」の計算式≫ 燃料使用量×単位発熱量(測定値)×燃料種別排出係数^{※1}×44/12=CO₂排出量

○燃料使用量が判明する場合

≪参考・「事業者別」の計算式≫ 燃料使用量×燃料種別発熱量^{※2}×燃料種別排出係数^{※1}×44/12=CO₂排出量

※1 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数
※2 算定省令別表第1の第4欄に掲げる単位発熱量

<自社分>/<他社分>

燃料種	燃料使用量 (表1記載の単位)			CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC	メニューA	メニューB	メニューC
原料炭				0	0	0
一般炭				0	0	0
無煙炭				0	0	0
コークス				0	0	0
石油コークス				0	0	0
コールタール				0	0	0
石油アスファルト				0	0	0
コンデンセート(NGL)				0	0	0
原油				0	0	0
ガソリン				0	0	0
ナフサ				0	0	0
ジェット燃料油				0	0	0
灯油				0	0	0
軽油				0	0	0
A重油				0	0	0
B・C重油				0	0	0
液化石油ガス(LPG)				0	0	0
石油系炭化水素ガス				0	0	0
液化天然ガス(LNG)				0	0	0
天然ガス				0	0	0
コークス炉ガス				0	0	0
高炉ガス				0	0	0
転炉ガス				0	0	0
都市ガス				0	0	0
小計	-	-	-	0	0	0

表1	発電電力量または受電電力量 (10 ³ kWh)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計			

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料種ごとの総発熱量が判明する場合

≪参考・「事業者別」の計算式≫ 燃料種ごとの総発熱量×燃料種別排出係数[※]×44/12=CO₂排出量

※ 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数

＜他社分＞

燃料種	総発熱量 (MJ)			CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC	メニューA	メニューB	メニューC
原料炭				0	0	0
一般炭				0	0	0
無煙炭				0	0	0
コークス				0	0	0
石油コークス				0	0	0
コールタール				0	0	0
石油アスファルト				0	0	0
コンデンセート(NGL)				0	0	0
原油				0	0	0
ガソリン				0	0	0
ナフサ				0	0	0
ジェット燃料油				0	0	0
灯油				0	0	0
軽油				0	0	0
A重油				0	0	0
B・C重油				0	0	0
液化石油ガス(LPG)				0	0	0
石油系炭化水素ガス				0	0	0
液化天然ガス(LNG)				0	0	0
天然ガス				0	0	0
コークス炉ガス				0	0	0
高炉ガス				0	0	0
転炉ガス				0	0	0
都市ガス				0	0	0
小計	0			0	0	0

表2	発電電力量または受電電力量 (10 ³ kWh)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計			

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料種ごとの受電電力量が判明する場合

《参考・「事業者別」の計算式》 受電電力量 ÷ 平均熱効率^{※1} × 燃料種別排出係数^{※2} × 44 / 12 = CO₂排出量

※1 総合エネルギー統計から算出した平均熱効率
 ※2 算定省令別表第1の第5欄に掲げる係数

＜他社分＞

燃料種	受電電力量 (10 ³ kWh)			CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC	メニューA	メニューB	メニューC
原料炭	0	0	0	0	0	0
一般炭	0	0	0	0	0	0
無煙炭	0	0	0	0	0	0
コークス	0	0	0	0	0	0
石油コークス	0	0	0	0	0	0
コールタール	0	0	0	0	0	0
石油アスファルト	0	0	0	0	0	0
コンデンセート(NGL)	0	0	0	0	0	0
原油	0	0	0	0	0	0
ガソリン	0	0	0	0	0	0
ナフサ	0	0	0	0	0	0
ジェット燃料油	0	0	0	0	0	0
灯油	0	0	0	0	0	0
軽油	0	0	0	0	0	0
A重油	0	0	0	0	0	0
B・C重油	0	0	0	0	0	0
液化石油ガス(LPG)	0	0	0	0	0	0
石油系炭化水素ガス	0	0	0	0	0	0
液化天然ガス(LNG)	0	0	0	0	0	0
天然ガス	0	0	0	0	0	0
コークス炉ガス	0	0	0	0	0	0
高炉ガス	0	0	0	0	0	0
転炉ガス	0	0	0	0	0	0
都市ガス	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0

表3	発電電力量または受電電力量 (10 ³ kWh)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計			

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料区分及び総発熱量が判明する場合

《参考・「事業者別」の計算式》 燃料区分ごとの総発熱量×燃料区分別CO₂排出係数[※]=CO₂排出量

※ 関連する燃料による平均的なCO₂排出係数

<他社分>

燃料区分	燃料区分毎の 総発熱量 (MJ)			CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC	メニューA	メニューB	メニューC
石炭				0	0	0
石油				0	0	0
LNG				0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0

表4	発電電力量または受電電力量 (10 ³ kWh)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計			

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

- ◎電源が特定できる場合
- 燃料区分及び受電電力量が判明する場合

《参考・「事業者別」の計算式》 受電電力量 ÷ 平均熱効率^{※1} × 燃料区分別CO₂排出係数^{※2} = CO₂排出量

※1 総合エネルギー統計から算出した燃料区分別平均熱効率
 ※2 関連する燃料による平均的なCO₂排出係数

＜他社分＞

燃料区分	受電電力量 (10 ³ kWh)			CO ₂ 排出量 (10 ³ t-CO ₂)		
	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C
石炭				0	0	0
石油				0	0	0
LNG				0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0

「発電に伴い排出された実二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

◎表1～6の各小計

	発電電力量または受電電力量(固定価格買取制度買取電力量を除く) (10 ³ kWh)			CO ₂ 排出量(固定価格買取制度買取電力量を除く) (10 ³ t-CO ₂)		
	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C
表1	0	0	0	0	0	0
表2	0	0	0	0	0	0
表3	0	0	0	0	0	0
表4	0	0	0	0	0	0
表5	0	0	0	0	0	0
表6(係数明確分)	0	0	0	0	0	0
表6(代替値使用分)	0	0	0	0	0	0
表6(太陽光等)	0	0	0	0	0	0
小計【A】	0	0	0	0	0	0

自社・販売電力量(小計)【B】

固定価格買取制度買取電力量【C】

◎販売電力量を各メニューに按分

	販売電力量(固定価格買取制度買取電力量を除く) (10 ³ kWh)			(再掲)CO ₂ 排出量(固定価格買取制度買取電力量を除く) (10 ³ t-CO ₂)		
	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C	メニュー-A	メニュー-B	メニュー-C
小計				0	0	0

排出量調整無効化等した国内及び海外認証排出削減量等
(平成〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

◎表7・自ら排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表8・自らの代わりに他者が排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表9・自ら排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表10・自らの代わりに他者が排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表11・自ら償却前移転した京都メカニズムクレジットの内訳

	償却前移転量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表12・自らの代わりに他者が償却前移転した京都メカニズムクレジットの内訳

	償却前移転量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

◎表7から表12までの合計

	排出量調整無効化量及び償却前移転量 (t-CO ²)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0

メニューごとの固定価格買取調整後二酸化炭素排出量の算定
(平成〇〇年度実績)

会社名

①(事業者別)FITを利用して調達した電気にかかる二酸化炭素排出量(標準的調達量、実際の調達量)の算定
以下の式で求める。

固定価格買取制度による電気調達にかかる二酸化炭素排出量 (標準的な買取電力量に応じたもの)	=	固定価格買取制度による当該電気事業者買取電力量(標準量)	×	全国平均係数
固定価格買取制度による電気調達にかかる二酸化炭素排出量 (実際の買取電力量に応じたもの)	=	固定価格買取制度による当該電気事業者買取電力量(実際量)	×	全国平均係数

	固定価格買取制度による 自社の買取電力量 (10 ³ kWh)	全国平均係数	固定価格買取制度による電気調 達にかかる二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO2)
固定価格買取制度による買取電力量が 標準的であった場合		0.000552	
実際の固定価格買取制度による調達電 力量		0.000552	

②メニュー別二酸化炭素排出量(固定価格買取制度による電気調達分を含む)を算定
以下の式にて求める。

メニュー別二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による電気調達分を含む)	=	メニュー別実二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による電気調達分を除く)	+	固定価格買取制度による電気調達にかかる二酸化炭素排出量 (実際の買取電力量に応じたもの)
--	---	---	---	---

	自社の販売電力量 (固定価格買取制度による電気調 達分を除く) (10 ³ kWh)	実二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による電 気調達分を除く) (10 ³ t-CO2)	自社の販売電力量 (固定価格買取制度に よる電気調達分) (10 ³ kWh)	固定価格買取制度による 電気調達にかかる二酸化 炭素排出量 (実際の買取電力量に応じ たもの) (10 ³ t-CO2)	二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による 電気調達分を含む) (10 ³ t-CO2)
メニューA		0.000000			
メニューB		0.000000			
メニューC		0.000000	0		
合計	0	0.000000	0		0.000000

③メニュー別固定価格買取調整後二酸化炭素排出量を算定
以下の式にて求める。

メニュー別固定価格買取調整後二酸化炭素排出量	=	メニュー別二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による電気調達分を含む)	-	固定価格買取制度による電気調達にかかる二酸化炭素排出量 (標準的な買取電力量に応じたもの)
------------------------	---	--	---	--

	自社の販売電力量 (固定価格買取制度による電気調 達分を含む) (10 ³ kWh)	(再掲)二酸化炭素排出量 (固定価格買取制度による電 気調達分を含む) (10 ³ t-CO2)	固定価格買取制度によ る電気調達にかかる二 酸化炭素排出量 (標準的な買取電力量 に応じたもの) (10 ³ t-CO2)	固定価格買取調整後二酸 化炭素排出量 (10 ³ t-CO2)
メニューA				
メニューB				
メニューC				
合計	0	0.000000		